

1 事業内容

【但馬の楽曲製作】

日時 2025 年 1 月完成

内容

但馬地域の豊かさ、歴史などをテーマにした楽曲を作曲家 福田洋介氏に依頼。

金管バンド用の編成で楽曲完成。【「但馬悠久伝(たじまゆうきゅうでん)」 福田洋介作曲】

【但馬の考古学遺跡の探査会】

日時 10 月 7 日、8 日

場所 豊岡市、香美町、養父市

講師 武内一忠氏(超古代巨石文化やペトログリフ(岩刻文字)研究家、日本巨石文化研究所所長)

「但馬の巨石文明と盃状穴 探査会」

日本各地に残る巨石文化やペトログリフを通じて、古代文明の謎を解き明かすことに焦点を当て

「盃状穴探索ガイドブック」などの著書を通じて、一般の人々にもその魅力を伝えている。

但馬にも、盃状穴やドルメン、巨石文明や磐座信仰と思われる痕跡があり、その探査会を行なった。

【事業経過】

月 日	実施内容	場 所	参加人数
10/7	探査会 小守神社(ファルクストーン)、帝釈寺(盃状穴)	豊岡市(竹野・小守神社) 香美町(香住・帝釈寺)	12 人
10/8	探査会 須流神社(巨石、天体装置)、玄武洞公園 (地球磁場の逆転発見地)	豊岡市(但東・須流神社) 豊岡市(玄武洞公園)	15 人
2025/1/25	「但馬悠久伝」完成		
～2/28	楽譜印刷		

2 事業の効果

(1) 団体(組織)内の効果

【但馬の楽曲製作】

「但馬悠久伝」を但馬ヒストリアが制作する動画やホームページのテーマ音楽として起用する。

【但馬の考古学遺跡の探査会】

探査会を行なったことにより、古代の人々の痕跡を発見するポイントを知り得たことにより、今後の但馬探査に活かせる。

・盃状穴の調査、石や岩に彫られた「盃状穴(はいじょうけつ)」を調査

古代の信仰や風俗を示す貴重な資料とされ、海洋民族と巨石文化の関連性を探る研究の一環

・磐座(いわくら)の調査、縄文時代から弥生時代にかけて、自然石や人工的に整えられた岩石が信仰の対象となっていたことが考古学的に示されている。また天文学的にも、巨石は天体観測装置であったと確認。但馬地域の文化や歴史を理解する上で重要な役割を果たしている。そして地域住民や観光客にとっても重要な存在であるため、今後はホームページや動画の制作を行なっていく。

(2) 地域への波及

【但馬の楽曲製作】

「但馬悠久伝」五荘小学校金管バンドの子どもたち及び卒業生が演奏会などで奏でることで演奏する子どもたち、それを聴く人々に但馬の深い歴史や豊かさを広く周知し意識付ける。

【但馬の考古学遺跡の探査会】

兵庫県但馬地域は、古代より円山川を中心に海洋民族が流入した地で、多様な自然が魅力的で花崗岩が隆起した神奈備山や滝、湧水が点在し、縄文期にはクリや榎の豊かな森が広がり、人々の生活を支え

た。また、但馬地域は柱状節理の玄武岩の一大産地であり、国定公園の玄武洞公園を含む山陰海岸。

玄武岩は古代から多く運び出され、古代の海洋民族によりインドネシアやポリネシアの神殿建設にも関与した可能性が考えられた。

フェニキア人とされるエビス人も、石材運搬や鉱山業、造船を営みながら、但馬地域に定住し、独自の祭祀文化を築いたように考察できる。海洋民族は水場を確保し、ドルメンや磐座を設置、盃状穴により祈りを捧げた跡が発見された。但馬地域は、石材と共に海洋文化の交流を物語る興味深い土地といえ、日本の起源研究に大きく寄与する地域である。

今後も今回の探査ポイントを参考に探査していく。

3 協働の相手方

- ・豊岡市立五荘小学校金管バンド（「但馬悠久伝」の演奏母体として協働）
- ・“Laputa” 環太平洋巨石文化研究会（但馬探査会、熊本などの巨石文化の研究として協働）

4 今後の課題等

（1）団体（組織）活動を継続するための工夫等

日程的に参加出来る方が少ない、また高齢などにより山などへの探査が難しく、興味はあるが参加する人は少ない。動ける人が動き、動画やホームページなどで情報を共有していく。また失われつつある地元伝承や古書を収集して今後役に立てる。

（2）地域活動を拡大していくための工夫等

兵庫県下の子どもたちとの交流会で但馬や郷土をPRするステージパフォーマンスを披露するなど（五荘小学校金管バンド + ダンスチーム ヒボッコ + 伊丹市立瑞穂小学校吹奏楽部ほか）活動に携わる人々の参加を増やす。

探査会も但馬各地で行ない、少しでも知る人を増やしその重要性に意識を集める。

ホームページを充実させ、但馬に住む人々には再発見となり、但馬を訪れる人々や歴史研究をする人への情報発信を行なう。



6年10月7日 帝釈寺（盃状穴）



6年10月8日 但東（水源）



6年10月8日 須流神社（武内先生）



6年10月8日 玄武洞